

# 「学校教育目標」と「令和4年度重点目標」に向けて

学校教育目標

「共に生きることを喜び かしこく たくましい子を育てます」  
～みんなとつながる・みんなでやりぬく・光りかがやくさくらっ子～

令和4年度重点目標

「あいさつの日常化」「やり抜く力の育成」「つながり力を大切に」

## 豊かな心

互いに尊重し合いながら自己有用感を高める教育活動を推進する。①道徳科を中心に道徳的価値を明確にし、道徳的判断力、心情等を育てる。②育てたい子ども像を明確にした体験活動を通して、計画的に「なかよし活動」を行う。③計画的に人権の視点を意識した授業や出前授業を行い、人権尊重を基盤とする学級・学年づくりをする。

## 健やかな体

感染予防対策の外出自粛による児童の体育・健康面から課題を明確にし、体育科だけでなく、教育活動全体を通して健やかな体を目指す。①なわとびタイムの継続等、授業だけでなく、体を動かす活動を充実させる。②自分の体力や健康を見つめ、健康状況を把握し、よりよい健康習慣を身に付ける。

## 資質・能力の育成

何ができるようになるか

### ○学校教育の基本

- 人間関係の育成・学力の向上を目指す。
- 生命・安全、人権を大切にす。
- 地域社会のネットワークを生かす。

何が身に付いたか

### ○学習評価を通じた学習指導の改善

- 共に生きることを喜び、かしこく、たくましく生きることができる生命・安全・人権を大切にするような、思考力・判断力。
- 善いもの・美しいもの・尊いものにあこがれる豊かな人権意識を育み、自分の生き方を見つめている。
- 学校運営協議会・PTA・桜岡学援隊との円滑な連携を組む。人とつながる体験。やり抜く力。汎用的な資質能力。

## 子どもの実態

- ・あいさつを進んでするまでには至っていない。
- ・自分の思いや考えはあっても、自分の言葉で伝えることに自信がなかったり、伝えることに躊躇したりする。
- ・与えられた課題に対して、頑張ろうとするが、自ら考えて行動することは難しい。

## 子どもの発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子どもへの指導

- スタンダードの徹底ときめ細やかな指導・SCやSSW等と連携し、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、支援する。
- 組織で対応する児童指導体制・職員間の情報共有及び外部機関との連携やYPの活用により、チームで支援する。

## 目指す子どもの姿

- ・進んであいさつができる子
- ・学び合いの中で自分の思いや考えを深められる子
- ・一人ひとりが自己肯定感や自己有用感を高め、人と人とのつながりを大切にできる子

## 何を学ぶか

### ○教育課程の編成

- 教育活動全体を通じた「やり抜く力」の育成
- 「つながり力」を大切にした課題解決学習。
- 1～6年生の6年間の系統を意識した授業づくり

## どのように学ぶか

### ○教育課程の実施

- 「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善を行う。
- なかよし&たてわり活動などの充実を図る。
- 学級だけでなく学年で子どもたちを育成する。

## 実施するために何が必要か

### ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 学校研究及び校内研修の充実
- いじめ、不登校を生まない学年、学級経営
- 学校相談コーディネーターを核としたSC、SSW、支援チーム等との連携
- 家庭、地域との情報共有及び関係・協働
- 迅速かつ適切な初期対応及び特別支援・児童指導部会のチーム対応
- 学びの連続性を意識した幼保小中の連携

## 安心・安全を守る

- ・教育活動全般における万全の安全対策
- ・自分の命は自分で守る子どもの育成（安全教育・防災教育）
- ・だれもが安心して過ごせる学校（人権尊重）

## 開かれた学校作り

- ・地域の人材や教材を生かした地域と共に生きる学校づくり
- ・学校運営協議会の評価等を受け、教育活動の改善を図る。
- ・学校便り、学年便り、メール配信、HPを活用した積極的な情報発信